

I 事業概要

1. 背景と目的

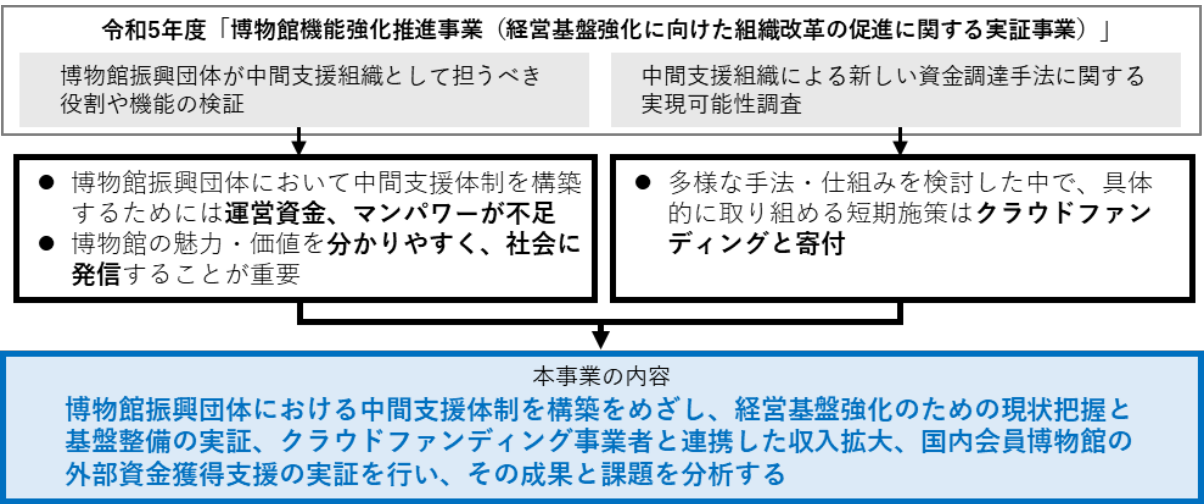
自治体財政の逼迫や国内経済の低迷で経営基盤が脆弱化する博物館において、これからの機能強化を達成するためには、博物館振興団体等による中間支援と、戦略的かつ持続的な外部資金の獲得による経営基盤の多角化と拡大を検討する必要がある。そのために、博物館振興団体における中間支援体制構築のための経営基盤強化を実施し、成果と課題を分析する。

2. 推進体制

本事業は文化庁からの委託を受け、受託者である株式会社丹青研究所が、再委託先である公益財団法人日本博物館協会（以下、日博協）及びかまくらさちこ株式会社との協働により推進した。令和 5 年度「博物館機能強化推進事業（経営基盤強化に向けた組織改革の促進に関する実証事業）」（以下、令和 5 年度事業）をふまえ、日博協を実証の場として選定し、調査研究を行った。

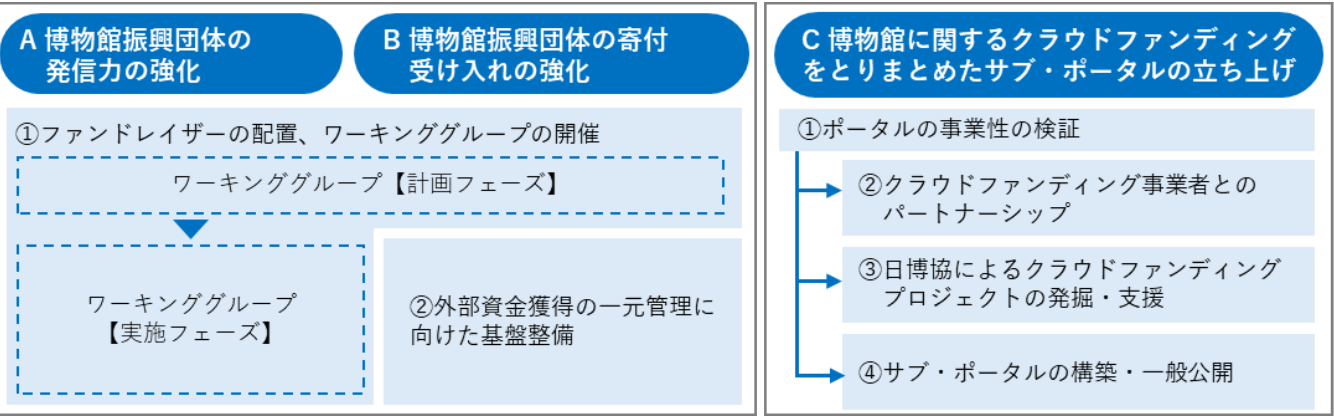
3. 課題の整理

令和 5 年度事業で明らかとなった課題をふまえ、本事業の内容を下記の通り整理した。



4. 事業の構成

上記をふまえ、日博協における一般社会への**発信力を強化**する施策と、**寄付受け入れを強化**するための施策の実証を行った。加えて、令和 5 年度事業の成果をふまえ、**博物館に関するクラウドファンディングを掲載するサブ・ポータルを構築**し、クラウドファンディング事業者から手数料を得る仕組みの実証を行った。



※A と B は並行して進めることが有効と考え、A・B をあわせて実施した。

II 調査研究及び実証事業の概要

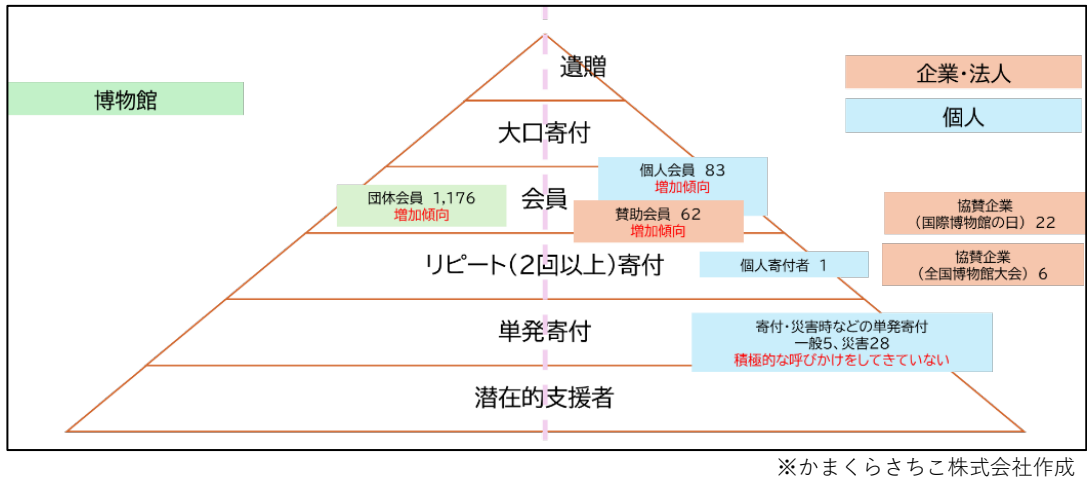
A 博物館振興団体の発信力の強化

B 博物館振興団体の寄付受け入れの強化

1. 日本博物館協会の現状確認

日博協の外部資金獲得に関する現状確認とこれまでの課題の把握を行うとともに、現在の支援者やステークホルダーを確認・分析し、同協会のドナーピラミッドを作成した。

■日本博物館協会のドナーピラミッド



※かまくらさちこ株式会社作成

2. 日本博物館協会が発信するコアメッセージの作成

日博協が中間支援組織として社会や博物館にその活動の意義を伝えるとともに、外部資金獲得につなげることを企図し、外部へ発信・支援の依頼を行う際に基本となるメッセージ（コアメッセージ）を作成した。中間支援組織は、一般社会に対して、業界や組織等の意義を伝え、支援を求めることを主たる目的とすることを念頭に、メッセージの開発にあたっては、国内の博物館と一般社会をつなぐための発信を行うことを重視した。

■日本博物館協会が発信するコアメッセージ

博物館・未来を考える場所

過去の自然環境、人々の営みの記録と記憶から
いまを生きる人々とともに課題を読み解き、
未来に生きる人々に知恵と希望を受け継いでいく
—日本博物館協会は日本全国の博物館を支援しています—

3. 外部資金獲得の一元管理に向けた基盤整備の具体的実践

①一般寄付増加のための取り組み

- 日博協ホームページ内の一般寄付ページの改修
- クレジットカード決済システムの導入
- 遺贈寄付獲得に向けた、クラウドファンディング事業者のサービスへの登録、日博協ホームページ内に「遺贈による寄付」ページの追加 等

改修後の一般寄付ページ

②賛助会員の特典追加

- 日博協ホームページ内、賛助会員の紹介ページに、賛助会員の特典として企業紹介文を追加

③収入源拡大のための取り組み

- 日博協ホームページのトップページに、企業広告バナーを追加するための検討を実施

C 博物館に関するクラウドファンディングをとりまとめたサブ・ポータルの立ち上げ

1. 基本的な考え方

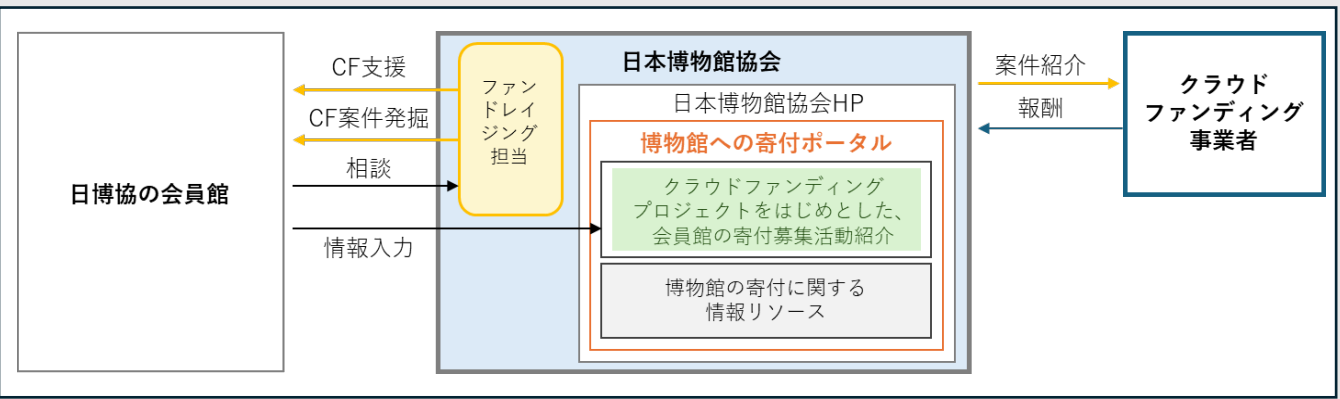
博物館に関するクラウドファンディングをとりまとめたサブ・ポータル立ち上げについては、クラウドファンディングにとどまらず、一般寄付、会員制度、ふるさと納税、物品寄付といった寄付募集の情報をとりまとめて発信するものとし、「博物館への寄付ポータル」として立ち上げた。

■「博物館への寄付ポータル」の目的

会員館の寄付活動への一般からの支援促進	博物館関係者への情報提供の場創出	会員館へのクラウドファンディング支援窓口設立	クラウドファンディング事業者からの報酬獲得
---------------------	------------------	------------------------	-----------------------

■「博物館への寄付ポータル」の事業スキームの実証

- 日博協のホームページに付随する形で構築。クラウドファンディングプロジェクトをはじめとした会員館の寄付募集情報を紹介するとともに、博物館の寄付に関する情報リソースを掲載。各寄付情報は会員館が情報を入力
- 会員館におけるクラウドファンディング案件を発掘し、同協会からクラウドファンディング事業者へ案件紹介するとともに、クラウドファンディングの伴走支援を行い、クラウドファンディング事業者からの報酬を獲得
- 同ポータルサイトを、会員館のクラウドファンディングを日博協が支援する窓口として設定



2. クラウドファンディング事業者とのパートナーシップ

本事業における実証として、株式会社 CAMPFIRE とのパートナー契約を行った。CAMPFIRE へクラウドファンディングを実施したい博物館を紹介する**案件紹介パートナー**と、博物館によるクラウドファンディングプロジェクトを伴走支援する**キュレーションパートナー**を兼ねるものとした。実施したパートナー業務に応じた報酬を獲得できる契約とした。

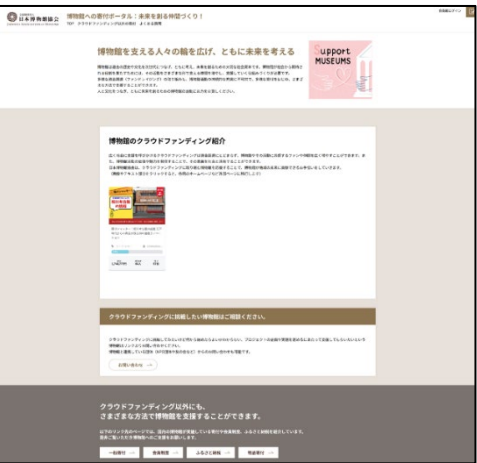
3. 会員館のクラウドファンディングプロジェクトの発掘・支援

クラウドファンディング事業者からの報酬獲得、日博協における会員館のクラウドファンディング支援の実証のため、会員館の中から実証協力館を募集し、公益財団法人相川考古館のクラウドファンディングプロジェクトを支援した。

相川考古館プロジェクトページ：<https://camp-fire.jp/projects/819936/view>

4. 「博物館への寄付ポータル」の立ち上げ

「博物館への寄付ポータル」を構築し、令和7（2025）年3月11日に一般公開した。https://www.j-muse.or.jp/donation_portal/



「博物館への寄付ポータル」トップページ

Ⅲ 実証事業の成果の分析と今後の課題

1. 成果の分析

■中間支援体制構築のための外部資金獲得に向けた基盤整備

※クラウドファンディングをCFと表記

課題	対応検討	成果	今後の展望
・マンパワー・予算不足、ノウハウ不足により積極的に外部資金獲得に向けた活動ができていない	・ファンドレイザーを配置し知識・ノウハウを獲得 ・現状分析、ターゲット設定をふまえた取り組み ・博物館の魅力、組織・事業の訴求力ある発信 ・収入源拡大の検討	・ドナーピラミッドの作成・分析、一般に訴求するコアメッセージ作成 ・コアメッセージを活用した、日博協HP内一般寄付ページの改修・公開 ・クレジットカード決済システムの導入 →令和7年3月現在3件の寄付を確認 ・CF事業者とのパートナー契約締結によりパートナー報酬獲得の仕組み構築 →令和7年5月に報酬獲得の見込み	・会員のメリット明確化による会員増 ・企業の広告バナー設置による収入源拡大 ・CF事業者からのパートナー報酬獲得の継続

■中間支援組織における博物館の外部資金獲得に向けた支援の可能性の把握

課題	対応検討	成果	今後の展望
・博物館が個別にCFに取り組む状況 ・CFの知見が蓄積されていない	・CFにとどまらず、幅広い寄付活動を発信 ・博物館が寄付関連情報を参照できる場を創出 ・会員館のCF支援を実証	・「博物館への寄付ポータル」の公開 →令和7年3月現在4件の寄付情報を掲載 →掲載した会員館のCFプロジェクトへのアクセス数増加 ・会員館のCF支援を通じたノウハウの開発と蓄積	・中間支援組織として博物館の外部資金獲得支援の継続、公益事業と会員館メリットのバランス・あり方検討

■中間支援組織における広報の必要性の把握

課題	対応検討	成果	今後の展望
・中間支援組織の役割が一般に伝わりづらい	・各媒体において、中間支援組織についての丁寧な説明が必要	・わかりやすい構成、伝わるメッセージ・ビジュアルを重視した、HPの一般寄付ページ・チラシの整備と、ツール整備のノウハウ獲得 ・プレスリリース配信ができる基盤整備	・外部メディアが参照しやすいHP表現の改善 ・各博物館の広報と組織自身の広報の両輪で推進

2. 今後期待される取組・展開

①業界団体と中間支援組織双方の機能を持つ博物館振興団体の体制整備

業界団体：会費を主な収入源として、業界の発展に寄与するための情報共有及び必要な事業を展開する振興団体
中間支援組織：社会に対して、その業界や組織、施設等の意義を伝え、理解を醸成し支援を求めることを目的とする組織

- 博物館振興団体は**業界団体と中間支援組織の双方の機能をあわせ持つものであることが期待されている。**
- 類似する欧米の組織は、公的資金の提供を受けて組織基盤が整備され、業界振興と中間支援の機能を両立させている。日本の博物館振興団体においては、業界団体と中間支援組織双方の機能を持つことを前提に**組織・機能を整備し、必要な事業を展開できる体制整備**が求められる。

②中間支援体制構築に向けた取組・展開

中間支援体制構築に向けた検討・検証の継続・評価

- 日本の博物館を支援するための業界振興、中間支援双方を担う機関・組織のあり方についての継続した調査研究
- 今年度事業で実装した事業の継続による効果の検証・評価、改善点の抽出、本格実装・運用

調査研究の対象とした日本博物館協会の今後の取組・展開

【**経営的側面での取組・展開**】中間支援機能を実装するための定款変更、中長期経営戦略の策定、公益事業の位置づけと展開に関する基本的方針の整理等
【**財政的側面での取組・展開**】クラウドファンディング事業者と連携した会員館サポート機能の検証と改善案・コストの検討、支援者への発展的アプローチの企画・コスト把握、公益事業の見直しと事業別の資金調達の検討等